

活力ある社会のために国・地方は車の両輪となって前進

参議院議長 伊達 忠一

ご挨拶に先立ち、本年四月の熊本地震をはじめ、相次ぐ自然災害により犠牲となられた方々の御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げます。被災地の復旧・復興に昼夜の区別なく取り組んでおられる関係各位に深く敬意と感謝の意を表します。

本日ここに、全国町村長大会が開催されるにあたり、参議院を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

日頃、町村行政の重責を担っておられる皆様方が、地方自治を取り巻く諸問題について議論を深め、総意を結集されますことは、時局に臨んで大変意義深いものと存じます。

少子高齢化の進展や経済のグローバル化が唱えられて久しく、各自治体においても課題の解決に向けた地道な取組が続いております。近年、地方分権改革、また、地方創生の環境整備が着実に進められる中で、魅力ある地域づくりに積極的に取り組んでおられる町村がございますことは誠に心強い思いがいたしております。将来に向けて活力ある社会を維持していくためにも、国と地方は車の両輪となって共に前進してまいりたいと存じます。

結びに、本日の大会が、実り多いものとなりますようご祈念申し上げますとともに、全国町村会の更なるご発展とご列席の皆様方の一層のご健勝、ご活躍を心よりお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉といたします。